

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	多文化共生推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	外国籍市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 市民・通訳翻訳ボランティア】		
	目的・目標		事業の概要
外国籍市民相談窓口や通訳派遣、翻訳の充実等、外国籍市民が暮らしやすい環境が整備され、外国籍市民相互の連携や市民及び行政との連携が図られています。		日本語を母語としない外国籍市民等が、生活する中で通訳・翻訳を必要とする場合に、通訳・翻訳ボランティア等を紹介します。また、日頃から外国籍市民、市民、行政との連携を図るため、研修会等を開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	生活相談窓口通訳派遣回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	102	98	96		
活動指標②	指標名	連絡会、研修会開催回数(平成26年度から)			単位	回
	説明・算定式	連絡会1回、研修会3回				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		4	4		
成果指標①	指標名	生活相談窓口利用者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	262	220	184		
成果指標②	指標名	連絡会、研修会への参加人数(平成26年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		50	63		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
日本語があまり理解できないことにより、日常生活に支障をきたしている外国籍市民への支援のため、生活相談窓口に通訳ボランティアを派遣するとともに、生活ガイドブックを8言語で配布しました。また、庁内各課が必要とする文書の翻訳に協力し、外国籍市民に理解しやすい情報を提供し、安心して暮らせるよう努めました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市内に多くいる外国籍市民が求めている生活支援は多岐に及ぶことから、事業の必要性は高いといえます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	外国籍市民のための生活相談窓口への通訳派遣や各言語での公的なお知らせの翻訳等の事業は多文化共生社会の発展や外国籍市民の支援のためにも継続的に行うことが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	日本語が十分に理解することができないために日常生活に支障をきたしている外国籍市民も少なくなく、本事業の妥当性は高いといえます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市はコーディネートを担当し、通訳・翻訳は地域に生活しているボランティアに依頼することで地域の実情に合った通訳・翻訳者を派遣していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 通訳・翻訳ボランティア及びコーディネータの確保が難しい言語において、通訳・翻訳ボランティアの人材の育成が必要です。また、災害時の外国籍市民への情報提供方法について検討する必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		生活相談窓口の設置、通訳ボランティアの派遣等	通訳・翻訳ボランティア等の育成・派遣、研修会の開催等	通訳・翻訳ボランティア等の育成・派遣、研修会の開催等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,515	1,570	1,520
事業費 (A)		1,515	1,570	1,520
執行率 (%)		87.02	90.80	91.07

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 生活相談窓口へのスペイン語、ポルトガル語通訳の設置等外国籍市民が暮らしやすい事業運営を推進するとともに、生活ガイドブックについては、現在ある8言語について順次内容を改訂します。また、日頃から外国籍市民、市民、行政との連携を図るため、研修会を開催し、安心して暮らせるよう努めます。
<b>課長コメント</b> 外国籍市民も暮らしやすい多文化共生社会の実現が必要と考えます。今後も生活相談窓口への言語通訳者の派遣やネットワークづくりに努めます。